

【新規格付け】 東日本高速道路

第5回社債： A A A

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

東日本高速道路は道路関係 4 公団民営化で発足した高速道路会社 6 社中の 1 社。北海道、東北、関東を中心に東日本の広汎な地域で高速道路の新設、改築、維持、修繕などを手掛けている。営業延長は 3481km(2009 年 3 月 21 日現在)と全高速道路会社中最も長い。営業エリア内に需要の多い首都圏を持つ半面、雪が多く、冬期に交通量が減少する東北、北海道を抱えているため、利用効率を高めにくい面がある。

高速道路建設に係る借入金や社債は当初は同社の負債だが、機構に高速道路資産が帰属する際に、原則として弁済期日到来順に機構により重疊的に債務引受される。道路建設に支障を来たしても道路建設債務は機構（間接的には国）によって保護される可能性が極めて高く、当該社債の元利払いの確実性は債務引受前であっても機構の信用力(発行体格付け=A A A)に帰着すると判断、機構と同格にしている。

交通需要の減少、道路特定財源の一般財源化など高速道路を取り巻く環境が従来に比べ厳しさを増している点には留意する必要がある。一方、関連事業は新たに宿泊特化型のホテル事業なども開始したが、高速道路周辺で展開する休憩所など収入が安定した事業が主体であるうえ、中期経営計画上也必要以上に関連事業の資産規模を拡大しない方針であり、今のところリスクは限定的である。

当該格付けに適用した主要な格付方法は「政府系機関の格付けの考え方」である。この格付方法は、格付けを行うにあたり考慮したその他の格付方法とともに下記のウェブサイトに掲載している。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/rating/rating/methodology.html>

【格付対象】

発行者：東日本高速道路

名 称	第 5 回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重疊的債務引受条項付）
発行額	300 億円
発行日	2009 年 5 月 21 日
償還日	2012 年 3 月 19 日
表面利率	0.70%
格付け	A A A（新規）
債務引受の予定先	独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構
担 保	一般担保付
社債管理者	みずほコーポレート銀行